建設業
建設産業の今を伝え
未来を考える
しんこう
Feb.2025
No.565
2

特集

建設キャリアアップシステム

今月のCCUS
サテライト説明会で
疑問にお答え!

発信：一般財団法人建設業振興基金 建設業しんこう

建設業 しんこうWeb

建設産業の今を伝え未来を考える

情報収集ツールとして　社内会議の資料として　取引先との話題として

様々なシーンでご利用いただけます!!

過去の特集記事テーマ

- 建設業法及び公共工事入札契約適性化法の改正について
- 建設事業主に対する助成金について
- 建設DXで働き方改革をどう実現するか

連載記事

FOCUS

全国の建設系学科を紹介。教育現場で活躍する先生方からもお話しを伺います！

お役立ち連載

CCUS 建設キャリアアップシステムを活用しよう!

CCUSに関するお役立ち情報を毎号掲載！

建設業しんこう
建設産業の今を伝え
未来を考える

Feb.2025
No.565
2

編集・発行
一般財団法人 建設業振興基金　〒105-0001
東京都港区虎ノ門4-2-12虎ノ門4丁目MTビル2号館
TEL：03-5473-4584　FAX：03-5473-1594
URL：https://www.kensetsu-kikin.or.jp/

CONTENTS

特集
建設キャリアアップシステム　02
- データで見るCCUSの登録状況
- 建キャリのご案内
- CCUS運用実践セミナーのご報告
- もふもふ建設隊のご紹介

FOCUS
工業高校紹介
福井県立敦賀工業高等学校　08
- インタビュー：谷 康博 先生

PRESCRIPTION
日本経済の動向　10
- 在庫のある世界

建設経済の動向　11
- 全国で始まる盛り土規制、残土の適正管理を

連載　## 経営者のためのわかりやすい会計　12
- 【第8回】
  キャッシュ・フロー

連載　## かわいい土木【第57回】　14
- 尼崎閘門
  ／兵庫県尼崎市

お役立ち連載
建設キャリアアップシステムを活用しよう!【第25回】　16

いつでもチェック!!
建設業しんこうWeb
建設産業の今を伝え
未来を考える

『建設業しんこう』は
Webでも
ご覧いただけます。

しんこうWeb　検索
https://www.shinko-web.jp/

メルマガ登録は
コチラから!

「建設業しんこう」に関するご意見・ご要望
TEL：03-5473-4584（企画広報部）
MAIL：kikaku@kensetsu-kikin.or.jp

【建設業しんこう編集委員】
東洋大学理工学部建築学科教授　浦江真人
国土交通省建設振興課長補佐　石井信
(一財)建設業振興基金専務理事　長谷川周夫
国土交通省建設業政策調整官　神澤直子
日経クロステック建設編集長　佐々木大輔

印 刷：日経印刷株式会社
◎本誌記事の無断転載を固く禁じます。

特　集

建設キャリアアップシステム

一般財団法人　建設業振興基金
専務理事（建設キャリアアップ事業本部長）　長谷川周夫

我が国が本格的な人口減少社会に突入する中、建設業においては、昨年4月から罰則付き超勤上限規制が導入され、次代を担う人材の確保・育成と、生産性の向上を通じた働き方改革が待ったなしの課題となっています。これらの課題に対しては、個々の企業のみならず、業界全体、さらには発注者を含めたサプライチェーン全体で対応していく必要がありますが、建設技能者の処遇改善や建設業の生産性向上など多面的な役割を有する建設キャリアアップシステム（CCUS）は、その課題解決のための重要なツール（道具）の1つであると考えています。

運用開始からまもなく7年目を迎える中、CCUSの利活用は着実に広がりを見せています。

昨年は、建設業法等の改正に基づきICT指針が策定され、CCUSが建設技能者に関する共通データ基盤としての取り組みが進められていることを踏まえ、効率的な現場管理等のためCCUS活用が推奨されるとともに、監理技術者の専任要件緩和の1つとして、監理技術者制度運用マニュアルにおいて、遠隔からの管理のためCCUSの活用が望ましいとされるなどの措置が講じられました。

また建設業退職金共済制度（建退共）の電子申請との連携も着実に進んでおり、今秋の建退共システムの改修により、事務の一層の効率化や業務の適正化に大きく寄与することが期待されています。

さらに昨年11月には、登録技能者の方が無償で利用できるスマートフォンアプリ「建キャリ」がリリースされ、手軽に保有資格や就業履歴など確認いただけるようになりました。これにより建設技能者の皆様にもCCUSをより身近に感じていただけるものと思っています。

CCUSは、換言すれば、建設業で働く人と、そしてその働く人を大切にする企業をデジタルの力で応援する仕組みであると言えます。その役割を十二分に発揮できるようにするには、比較的規模の小さい現場での利活用促進や能力評価制度の充実などまだまだ取り組むべき課題が多く残されています。運営主体である建設業振興基金としましては、今後とも、システム更新による利便性の向上や、登録・利用に当たってのきめ細かいサポートなどに尽力するとともに、関係機関の皆様と力を合わせ、CCUSを使って良かったと思っていただけるよう関連施策の充実に努めてまいります。

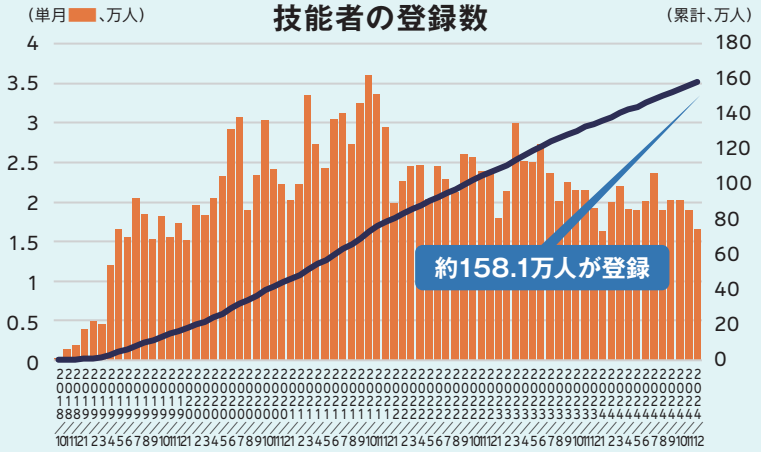
データで見るCCUSの登録状況 2024年12月末までの実績

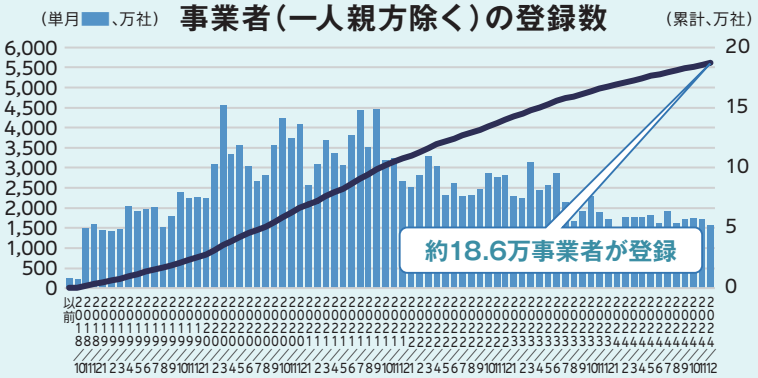
技能者・事業者の登録及び就業履歴状況

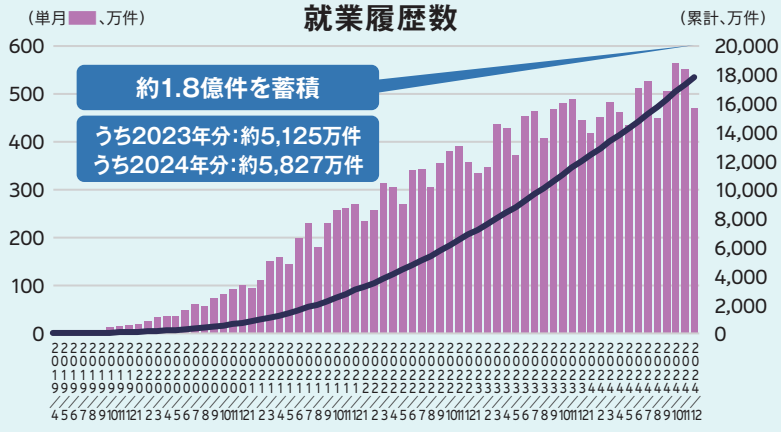
○ **技能者は約158.1万人が登録済**
（技能者の2人に1人超が利用する水準に。）

○ **事業者（一人親方除く）は約18.6万社が登録済**
事業者登録のうち一人親方は約9.7万者
（※一人親方は、技能者の登録数にも含む。）

○ **現場での利用数は逓増傾向**







都道府県別 技能者・事業者登録状況

技能者（現住所）		事業者（所在地）	
都道府県	技能者登録数	都道府県	事業者登録数
合計	1,581,554	合計	284,536
北海道	82,519	北海道	11,469
青森県	20,817	青森県	2,029
岩手県	19,805	岩手県	1,995
宮城県	45,219	宮城県	5,863
秋田県	11,054	秋田県	1,345
山形県	11,965	山形県	1,572
福島県	37,762	福島県	4,048
茨城県	32,675	茨城県	5,567
栃木県	20,449	栃木県	3,898
群馬県	20,401	群馬県	3,847
埼玉県	105,953	埼玉県	18,840
千葉県	87,899	千葉県	13,532
東京都	150,392	東京都	32,383
神奈川県	113,060	神奈川県	21,401
新潟県	25,256	新潟県	3,086
富山県	13,302	富山県	2,133
石川県	15,504	石川県	2,990
福井県	10,962	福井県	1,768
山梨県	9,222	山梨県	1,560
長野県	21,055	長野県	3,598
岐阜県	27,034	岐阜県	4,982
静岡県	38,898	静岡県	7,827
愛知県	98,921	愛知県	20,592
三重県	22,122	三重県	4,564
滋賀県	10,687	滋賀県	2,140
京都府	23,505	京都府	5,446
大阪府	114,582	大阪府	24,982
兵庫県	49,947	兵庫県	10,751
奈良県	9,271	奈良県	1,682
和歌山県	6,455	和歌山県	1,180
鳥取県	6,432	鳥取県	926
島根県	9,176	島根県	1,066
岡山県	22,873	岡山県	4,497
広島県	41,237	広島県	8,810
山口県	17,576	山口県	3,380
徳島県	8,974	徳島県	1,569
香川県	14,184	香川県	2,289
愛媛県	14,800	愛媛県	2,602
高知県	7,466	高知県	1,127
福岡県	66,273	福岡県	13,314
佐賀県	10,944	佐賀県	1,521
長崎県	13,931	長崎県	2,698
熊本県	19,998	熊本県	3,178
大分県	11,208	大分県	1,634
宮崎県	14,177	宮崎県	2,023
鹿児島県	21,259	鹿児島県	2,948
沖縄県	24,353	沖縄県	3,884

※一人親方含む

建キャリのご案内

～見る・知る・楽しむ手の中のCCUS！～技能者向けアプリ本格運用開始！

2024年の特集号や11月号でもお知らせしたとおり、技能者向けスマホアプリ「建キャリ」が2024年11月29日リリースされました。
建キャリは、CCUS登録技能者が、スマホで自身の保有資格、就業履歴、レベル等の情報を容易に確認することができるアプリです。
技能者の皆様が、ご自身の状況を把握するとともに、能力評価サポートや建退共掛金状況などにより、キャリア構築やモチベーション維持につなげていくことを期待しています。
その他、国交省からの情報や有識者によるコラムなどのお知らせ、CCUS応援団の特典情報等の入手・活用により、知見を広げ、日々の業務にもお役立ていただければ幸いです。

ホーム画面

能力評価のレベル色を表示。こちらはレベル4です

レベル2以上の場合、該当職種、登録基幹技能者等を表示

ホーム画面の画像は、複数種のイラストから選択可能

「ハンバーガーメニュー」からもメニュー選択可能

最新の「お知らせ」を表示。「もっと見る」で利用者本人向け「あなたへのお知らせ」も確認

直近の「就業履歴」を表示。「もっと見る」で月別表示、さらに詳細へ

登録基幹技能者から技能講習、表彰、さらに資格者証等の画像まで、CCUSに登録した情報が表示されます。

「資格情報」はオフライン表示可能！

PCでCCUSにログインせずに、蓄積された日々の就業履歴を確認することができます。

「就業履歴」では作業内容や立場も確認可能！

CCUSに登録した職種等、ご自身の情報を確認できます。最新の情報になっているか確認しましょう。

「マイページ」では生体認証ログイン設定も可能！

その他、建退共の掛け金状況など知りたい情報が手軽に確認できるようになっております。

アプリのダウンロードはこちらから！！！！》

iPhone　Android

「建キャリ」リリースキャンペーン実施中！

現在、アプリリリース記念として、建キャリをインストールして、対象期間内に就業履歴を蓄積することで（現場でカードをタッチ！）、200円相当のポイントをプレゼントするキャンペーンを実施しております！詳細は下記のとおりです。

ポイントプレゼント概要 》対象期間各月の条件達成者先着順　※同日の場合は抽選

【対　象　者】： 建キャリをインストールしたCCUS登録技能者。＊エントリー不要

【対象期間】： 2025年1月～3月の3箇月間

【景　　品】： 200円相当のキャッシュレス決済用ポイント／月

【条　　件】： ①対象期間内の各月に3日分の就業履歴蓄積で条件達成

②CCUS登録者数の多い北海道、埼玉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、福岡県は、先着300名。他府県は、先着200名。

建キャリは多くの方にご利用いただくために、これからもアップデートをし続けていきます。
「こんな機能があったら便利だな」、という機能実装、「こういう情報が知りたい！」など、皆様により有益な情報をご提供できるよう運営をします。
まだインストールされてない方は、この機会にぜひインストールしてみてはいかがでしょうか。

CCUS運用実践セミナーのご報告

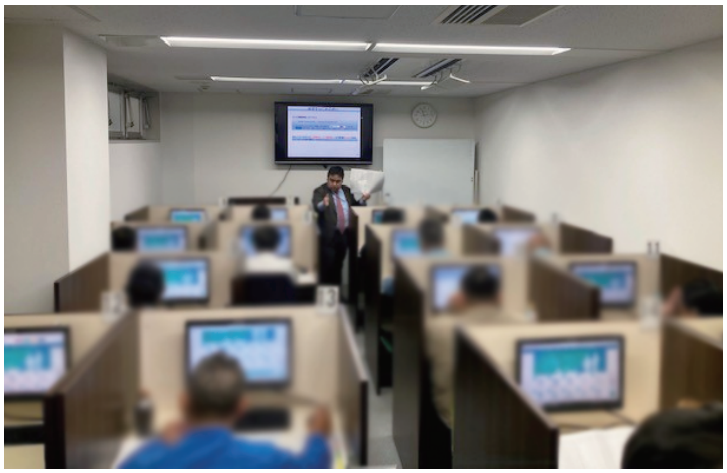
CCUSといえば登録を行い就業履歴を蓄積し、活用していくことが大切ですが、最初のうちはわからないことも多く、相談先もわからない･･･そんなことが多々あるかと思います。
そんなお悩みを解決すべく、2024年11月～12月に「CCUS運用実践セミナー」を開催しましたのでご報告いたします。

運用実践セミナーについて

「CCUS運用実践セミナー」は、当財団主催で、2024年11月1日、11月15日、12月6日、12月13日の全4回、日建学院大宮校で開催しました。
どなたでも参加できるセミナーで、38社50名と多くの方にご参加いただきました。（4日間合計）
本セミナーは、行政書士でCCUS認定アドバイザーである川﨑雅彦先生を講師としてお招きし、先生からのレクチャーを受けながら、実際のCCUS運用を体験していただきました。

当日の状況

当日は、一人一台準備されたパソコンを使用し、デモ環境で、CCUS運用を体験。
実践会の後は、質問の時間を設け、活用にむけての疑問点等を解決していただきました。
また、セミナー中には補助講師が入り、システム操作等のサポートを行いました。



セミナーの様子

受講者の感想等

受講者の方にアンケートにお答えいただき、理解度について、約8割が「よく理解できた」、約2割の方が「まあまあ理解できた」との回答をいただきました。
また、自由記述欄には、「非常にためになるセミナーだった」や「わかりやすかった」など、多くのご好評をいただきました。

今後の開催について

運用実践セミナーは、これから各地方ブロックへ展開、定期的に開催していく予定です。
日程等が決まりましたら、HPや建キャリアプリ、メンバーズメール等でご案内いたしますので、参加をご希望される方は、今後の続報をお待ちください。

もふもふ建設隊のご紹介

～現場ステッカーからキャラクターが生まれました！～

様々な職種がある建設業に、それぞれの職種をモチーフにしたキャラクターが生まれました！その名も「もふもふ建設隊」です。
もふもふ建設隊は2023年に行った現場ステッカーデザインから生まれたスピンオフ作品です。

池袋で行われた建設技術展2024関東では、建設業振興基金のブースへ訪れた方にもふもふ建設隊デザインのハンカチをお渡ししました。
その際は、品切れになってしまうほどのご好評をいただいております！
もふもふ建設隊は、建設業振興基金のキャラクターとして、CCUS等建設業振興基金の事業や建設業を盛り上げていく予定です。

こんなキャラクターがいます！

建設業の職種ごとにいる、もふもふ建設隊のキャラクターを一部ご紹介します。

わんた
現場監督
しっかり者

パンさん
造園工
穏やかなパンダ

りぼんちゃん
鳶
にんじんケーキ大好き

ぽーぽー
塗装工
いつもるんるん

ぴっぴ
電気工
おしゃべり好きの男の子

かばちぃ
ガス圧接工
のんびりギャル

今回ご紹介したキャラクターはほんの一部です。まだまだ、たくさんの動物のキャラクターがおりますので今後も楽しみにしてください。ぜひ、皆さんの推しキャラクターを見つけて、応援してください！

これからもCCUSをよろしくお願いいたします！

2019年に本格運用を開始したCCUSは、2025年度に7年目を迎えます。
CCUSは、全ての技能者と事業者がIDを持ち、共通のプラットフォームを利用する、他に類を見ない先進的な取り組みです。
それを体現すべく技能者向けアプリのリリース、建退共との連携などに取り組み、普及・促進を図ってきたところです。
さらに今般、ICT指針※において、“共通のデータ基盤”としてCCUSを活用していくことを明記されるなど、益々重要性が高まっています。
今後、CCUSの利用はさらに拡大されていくと考えられます。引き続き皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。
※「情報通信技術を活用した建設工事の適正な施工を確保するための基本的な指針」

第108回

FOCUS

“生徒ファースト”の想いと“社会との繋がり”が育む、ものづくりの力!

美しい海岸線に代表される豊かな自然と歴史を兼ね備えた港町・福井県敦賀市。その南西部に位置する嶺南地域において唯一の工業高校である福井県立敦賀工業高等学校は、地域と深く結びついた教育を展開し、地元企業をはじめとして様々な分野で活躍する人材を輩出しています。今回は、同校の建築システム科で教鞭をとる谷康博先生に、工業教育に携わる想いや生徒に期待することなどを伺いました。

福井県立敦賀工業高等学校
建築システム科
谷 康博 先生

地域と連携して伝える建設業の意義

「建築の分野をはじめ、建設業全体について幅広く学ぶことができるのが本校の特長です。また“地域に愛され、必要とされる工業高校”を目指しており、卒業生の多くも地元で活躍するなど、地域の方々とも強い絆で結ばれています」。

敦賀市土木協会ご協力のもとでの港湾・トンネル・新幹線の橋脚などの工事の現場見学会や、今庄宿内の町家（今庄旅籠塾）の改修実習、嶺南振興局二州農林部林業水産課ご協力のもとでの製材所・モデルハウス見学や大工職人の方との交流会など、地域と連携した様々な取り組みも行っている同校。そうしたイベントや地域貢献活動を通して、将来のための経験を積むとともに、建設業の意義を学んでいる。

「普段当たり前のように暮らせているのは人々の支えのおかげであると、生徒に感じてもらえたら嬉しいです。例えば福井県は国内でも有数の車社会として知られていますが、自動車が走る道路を手がけているのは建設業。そうした働きに生かされているからこそ、自分たちも何かしらの形で社会に貢献する想いを持ってほしいです。また、人に必要とされている仕事は、ずっと残り続けていくもの。社会基盤を作る建設業という仕事は、未来においても無くなることはありません。そんな業界に携わり、ものづくりの力で社会に役立っていけるという自信と誇りを抱いてほしいと思っています」。

資格取得を通じて自ら学ぶ力を育む!

生徒の将来を見すえ、資格取得のサポートにも力を入れている同校。測量士補試験やトレース技能検定、建築CAD検定などに向けて、朝や放課後の時間を使った補講、個別での補習などにも取り組んでいる。

「2級建築施工管理技術検定（第一次検定）など、授業の中に試験に向けた勉強を交えていく場合もあります。本校では地元企業などを中心とした就職の道に進む生徒が多いため、本校が社会に出る前の最後の学びの場と言えます。しかし、自ら学ぶというスキルは、社会に出る前よりも、むしろ社会に出た後にこそ不可欠なもの。そのときに困らないよう、学生のうちに自ら学ぶ習慣を身につけておいてもらいたいという考えです。資格試験においてもそうした想いのもと、合格に向けたサポートに取り組んでいるところです」。

生徒が意欲を持って取り組める授業を実践し、優れた実績を上げている教員を示す福井県の制度“授業名人”にも認定されている谷先生。生徒のやる気を引き出すために、どのような点を重視しているかを伺った。

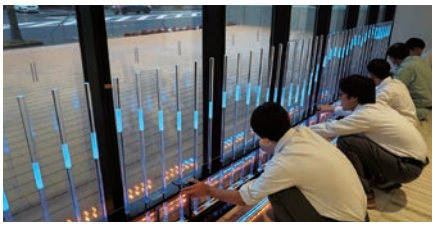
「授業におけるテクニックのようなものは、あまり意識していません。ただ、考え方の

授業風景

生徒一人ひとりを見つめ、学びを伸ばす!

生徒一人ひとりの顔を見た授業を展開する谷先生。「ITやデジタルを活用した授業がますます主流になっていますが、教育は“人”を相手にするものだということを、常に忘れてはいけないと思っています。例えば従来のような黒板を使った授業も、生徒が学ぶスピードに合わせて進められるメリットがあります。相手や場面に沿って、より効果的な手段を用いた教育を図っていければと考えています」

3級技能検定（鉄筋施工・左官・建築大工）に向けて、熟練の技能を有するものづくりマイスターを招聘し、指導を受ける取り組みも実施。プロフェッショナルによる本物の技術を目にしながら、ときにはアドバイスを受け、難しい工程などにもチャレンジしながら体験的な学びを深めている



令和5年度の課題研究として学科横断で取り組んだのが、敦賀を全国にPRする『北陸新幹線敦賀開業みんなで応援プロジェクト』事業の一環となるインスタレーションの製作。港町・敦賀をイメージした波模様や新幹線車両を青や金色などの光で表現した作品が、敦賀市役所のホールを美しく彩った

コレ推し! 地元の建築物

谷先生が生まれ育った福井県池田町の国道417号沿いに2024年4月にオープンした、日本の原風景を感じられる観光交流施設。「すぐそばを流れる足羽川のせせらぎを感じながら座ってお茶をしたり、川沿いの遊歩道をのんびり散策できたりと、すごく気持ちの良い場所。建物（センターハウス）の形状など、設計視点で見ても面白いスポットです」

ベースにあるのは“人の根本には知ろうとする欲求がある”ということ。生徒のだれもが本能的には何かを知りたい・学びたい意欲を持っていながら、これまでの学習経験や状況などが心に網をかけてしまい、自ら学ぶことができなくなっている生徒が多いように思います。そうした網を取ってあげて、気づきを与えることで、自ずと学ぶ姿勢が生まれてくるのではないでしょうか。特に工業教育や建築分野の場合、中学校までは勉強が苦手だった生徒も楽しく学べることが多々あります。生徒それぞれで得意とするところは異なるため、一人ひとりの顔を見ながら授業をするということが、私の中で大切にしているポイントです」。

工業教育のベテランとして生徒を支える!

工業教育に携わって35年以上。教員になったのは、より多くのものを社会に残せる仕事だと感じたからだ。

「大学で学ぶうちに建築の勉強がますます楽しくなり、卒業後は就職を視野に入れていました。しかしあるとき、教員になって教え子たちを育てることで、自身が手がけるであろう建物の何十倍・何百倍もの建物が生まれると考え、教員の道へ進みました」。

前任の高校では、教頭や校長といった管理職も経験。教員として常に意識しているのは、“生徒ファースト”、そして“社会との繋がり”を重んじることだ。

「学校とは、教員と生徒の場。“生徒ファースト”の考えは当然ではあるのですが、それは単に生徒を甘やかすという意味ではなく、生徒の将来を真剣に考えた教育を行うということです。ときには厳しく、ときには励ましながら、教員一体で温かく育んでいくことが重要だと感じています。また、管理職を務めてきたことで、学校外の地域の方々・企業の皆様との関わりといった“社会との繋がり”の大切さも見えてきました。事業委員を務めさせていただいている福井県建築士会も様々な方と繋がるきっかけになっており、建築士会の方を通じて生徒がインターンシップに参加させていただいたり、生徒に合った地元企業をご紹介いただいたりと、繋がりに支えられている部分が非常に大きく、感謝の一言につきます」。

役職定年を迎え、令和６年4月より同校で教鞭をとる中、授業を行う楽しさを実感している谷先生。その想いは、生徒の未来に向けられている。

「就職にせよ進学にせよ、生徒それぞれが自身に合った選択と決断をしてくれるのが一番です。願わくは、学んできたことを存分に活かし、社会に還元してくれたらと思います。本校で勉強して、社会に出て、いずれは父親や母親、先輩や上司となって、新しい世代を育ててほしいですね。人の世話ができるようになることが、人として100点のことだと思っています。その手段として、建築の知識が役立てば、それに勝る喜びはありません!」

福井県立敦賀工業高等学校

〒914-0035　福井県敦賀市山泉13-1

WEB https://www.tsuruga-th.ed.jp/

高水準の在庫がもたらすメリット、デメリット、そしてリスク

在庫のある世界

みずほリサーチ&テクノロジーズ　調査部　チーフアジア経済エコノミスト　河田 皓史

経済活動対比で在庫が高水準となっている。通常、在庫の増減は景気循環（好況・不況）との関係で議論されることが多いが、近年の持続的な在庫増加は循環を超えたトレンドのようにも見える。そこで今回は、近年の在庫増加の背景とそのマクロ経済に対するインプリケーションについて解説する。

経済活動対比で高水準の在庫

在庫が増えている。メーカーの製品在庫の「在庫率」（在庫量を出荷量で割ったもの）は、2000年代半ば頃と比べ、現在の水準は50%以上切り上がっており、メーカーは昔に比べてかなり多くの在庫を抱えるようになっている。

在庫率は景気に対して反循環的に動く性質がある（＝景気が悪いときに上昇し、景気が良いときに下落する）。特に、リーマンショックやコロナショックのように需要が急減する場合には、分母である出荷の急減により在庫率は大幅に上昇する。

在庫率の短期的な上昇・下落は景気循環に対応するものと理解しておけばいいが、近年の持続的な上昇は単なる景気循環の域を超えた動きのように見える。日本の実体経済が総じて冴えないのは事実だが、単に需要が弱いだけなら在庫が長期的に積み上がり続けるとは考えにくいため、それ以外の要因があると考えるのが自然だろう。

東日本大震災とコロナ禍が契機に

在庫率の上昇トレンドが明確になったのは2010年代前半だが、この時期にあった大事件は東日本大震災である。東日本大震災の際には、地震・津波により被災地の生産設備が破壊されたことに加え、道路や空港などの物流インフラも相当のダメージを受けたことから、多くの製品の供給が途絶えることとなった。結果として、被災地以外でも部材不足により生産活動に多大な影響が出たため、企業はサプライチェーンの管理まで含めた事業継続計画（BCP）が必要との教訓を得ることとなった。こうした流れの中で、最終財メーカーは部材在庫を積み増し、部材メーカーは製品在庫を積み増す傾向が強まった。

在庫率の上昇トレンドはコロナ禍以降に加速したが、これについては2021～22年頃の「モノ不足」、特に「半導体不足」の経験が影響していると思われる。半導体などのモノ不足により、企業の生産活動が強く制約された経験を通じて、財の生産・流通における複数の段階で、各種の在庫を積み増す動きが強まったものとみられる。

高水準の在庫は経済に何をもたらすのか

高水準の在庫は経済に何をもたらすのだろうか。ポジティブな側面としては、自然災害などの供給減少ショックへの耐性が高まることが挙げられる。また、在庫保有の最大の理由が「販売機会を逃さない」ことだとすれば、2021～22年頃にみられたような財需要の急激な高まりが先行きどこかで生じた場合に、需要に供給が追い付かないことによる「売り逃し」を回避することも期待されるだろう。

一方、在庫増加にはネガティブな側面もある。企業経営・企業会計の観点では、在庫増加はキャッシュフローの悪化につながるため、通常は好ましくないこととされる。企業金融面からみると、こうしたキャッシュフローの悪化は、外部資金需要を高めることにつながる。実際、在庫率と運転資金の動きを比較すると強い相関があり、在庫の増減によるキャッシュフロー動向見合いで、運転資金の調達が行われることがよくわかる。

また、何らかの需要減少ショック（例えば海外経済成長率の大幅減速）が発生した場合には、企業は多かれ少なかれ在庫調整を進めざるを得ないが、こうした場合には、高水準の在庫が経営の重荷になる可能性が高い。

「逆回転」のリスクには要注意

企業はこれまでさまざまな理由により意図的に在庫を積み増してきたとみられるが、こうした在庫保有スタンスが今後も続くかどうかは不透明である。東日本大震災以降のBCP対応による在庫積み増しが巻き戻される可能性は低いと思われるが、コロナ禍以降の在庫積み増しは、「半導体不足」などの記憶が残る現時点では正当化されても、そうした記憶が薄らいでいくと巻き戻される可能性がある。こうした「逆回転」が実際に生じる場合には、在庫圧縮により生産活動には下押し圧力がかかる。

仮に、企業の在庫保有スタンスに変化が生じ、過去数年で増加した在庫を短期間で調整する場合には、実質GDP成長率に相応のマイナス寄与となる。米国における第二次トランプ政権誕生などもあり、海外経済に関する不確実性が高い状態が続く中、予期せぬ需要減少およびそれに伴う在庫調整圧力の高まりにも注意が必要になりつつあると言える。

全国で始まる盛り土規制、残土の適正管理を

日経クロステック 建設編集長　佐々木 大輔

2021年に静岡県熱海市で発生した土石流災害をきっかけに制定された盛土規制法。施行から2年間の経過措置期間が終わる2025年5月までに、自治体の大半が規制区域を指定する見通しだ。全国で盛り土規制の運用が始まり、建設会社は対応を迫られる。建設残土を取り巻く規制の内容を解説する。

建設残土の処分を巡るトラブルが、全国各地で頻発している。崩壊の恐れがある危険な盛り土が造成されることも少なくない。盛り土規制は従来、宅地、森林、農地など土地の用途に応じて適用できる法律が異なっており、規制が十分でない地域もあった。静岡県熱海市で起こった土石流災害では、こうした残土問題が顕在化した。

そこで、新たに制定されたのが2023年5月施行の「宅地造成及び特定盛土等規制法」、通称「盛土規制法」だ。既存の宅地造成等規制法（宅造法）を抜本的に改正し、名称を変更した。

法施行を受け、福島県が2024年8月に全国初となる行政代執行に着手。違法残土に対する先駆的な取り組みとして話題になった。

盛土規制法は、全国一律の基準で土地の用途に関わらず、危険な盛り土などを包括的に規制するのが特徴だ。都道府県知事などが人家や人命に被害を及ぼす恐れのある場所を「規制区域」として指定。区域内では、一定規模を超す盛り土や切り土に知事などの許可を義務付けた。宅地造成だけでなく、残土処分も規制対象となる。盛り土の高さや勾配、排水など安全に関する技術基準も設定。施工中や完了時に行政が検査する制度も導入した。

さらに責任の所在を明確化。土地の所有者にも責任があると明記した。盛り土の安全性に問題が生じれば、造成事業者や土砂の搬入事業者、過去の土地所有者も是正措置命令の対象となる。罰則も強化される。

国土交通省によると、2024年9月末時点で規制区域指定済みの自治体は22ある。例えば、東京都は2024年7月、都内のほぼ全域を対象に規制を始めた。盛り土の割れや擁壁の亀裂など異常が見られる箇所を都民が写真撮影し、投稿できるオンラインサービス「まもりど」の運用も開始。官民で危険な盛り土を早期発見する体制の整備を進めている。

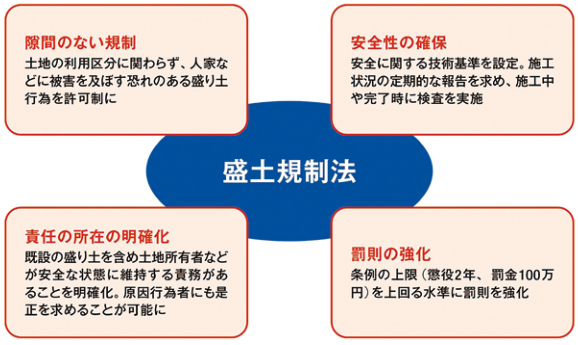
区域未指定の自治体の多くも規制区域案についてパブリックコメントの手続きを進めており、2025年5月までに区域指定を済ませる見通しだ。

元請けに建設残土の最終搬出先の確認を義務化

建設残土を取り巻く状況は大きく変化している。盛土規制法と併せて、国交省は資源有効利用促進法の省令を改正。2024年6月から、工事の元請け会社に現場で発生した建設残土の最終搬出先の確認を義務化した。これに先立つ2023年5月に国交省はストックヤードの登録制度を開始。一定の条件を満たした登録ストックヤードでは残土の区分管理を不要とし、元請け会社はストックヤードまでの搬出を確認すればよいものとした。

盛り土規制の厳格化に伴い、建設残土を適切に管理する重要性が一層高まっている。改めて、行政手続きや費用負担など、業務の進め方を点検しておきたい。

福島県西郷村で積み上げられた「違法残土」。最大48度の勾配を持つ土砂が民家に迫る。福島県が全国初の行政代執行に着手した
（写真:日経クロステック）

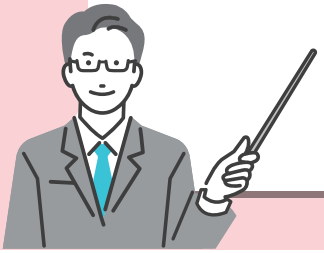


盛土規制法の特徴。従来の法規制の隙間を埋めた点が特徴だ
（出所:国土交通省の資料を基に日経クロステックが作成）

経営者のためのわかりやすい会計

一般財団法人 建設産業経理研究機構
常任理事 土井 直樹

第8回 ▶▶▶ キャッシュ・フロー



はじめに

今回は、企業経営の重要な要素というべき「資金」について考えていきます。
損益計算書や貸借対照表から得られる情報だけでなく、資金の流れ（キャッシュ・フロー）に関する情報の重要性について解説していきます。

1．キャッシュ・フロー管理の重要性

会計においては、収益と費用に関して基本的には発生という事実に基づいて計上していきます。このため、通常は売上収益の計上と売掛債権の回収、仕入費用の計上と仕入債務の支払いには、時間的な差異が生じます。企業の損益面での業績が良くても、債権の回収や債務の支払いといった資金の管理が適切に行われないと、いわゆる「黒字倒産」に陥ることがあります。

また、収益・費用には、減価償却費、貸倒引当金繰入額といった収入・支出を伴わないものもあるため、企業活動により生じる損益と現金等の残高は必ずしも一致しません。その意味でも、収益・費用すなわち損益フローに加えて収入・支出すなわちキャッシュ・フローの面から企業活動を把握することが重要です。

2．キャッシュ・フロー計算書 図

①キャッシュ・フロー計算書の意義

キャッシュ・フロー計算書とは、一会計期間におけるキャッシュ・フローの状況について、企業が行う主要な活動区分（営業活動・投資活動・財務活動）に分けて表示した決算書です。金融商品取引法の規定により有価証券報告書を作成している企業（上場企業や株主が500人以上の企業など）に対して2000年3月期より作成を義務付けられているものですが、中小企業にとってもたいへん有意義なものとなるため、ここで簡単に解説しておきます。

②キャッシュ・フロー計算書が対象とする資金の範囲

キャッシュ・フロー計算書が対象とする資金の範囲は、現金及び現金同等物です。

ここで言う現金とは、手許の現金だけでなく、要求払預金を含めたものとなっています。要求払預金とは、顧客が事前に通知することなく、または数日の事前通知により元本を引き出すことが可能で、かつ、期限の定めのない預金をいい、普通預金、当座預金、通知預金などがあげられます。

現金同等物とは、容易に換金可能であり、かつ価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期投資をいいます。現金同等物としては、満期3か月の定期預金などが考えられます。

キャッシュ・フロー計算書が制度化される前に、資金管理のために作成されることが多かった資金収支表では、現金および市場性のある一時所有の有価証券を資金として取り扱っていました。しかし、この場合の資金の範囲は広くなり、企業における資金管理活動の実態を的確に反映しないという問題が指摘されていたことから、キャッシュ・フロー計算書における資金からは、価値変動リスクを伴う市場性のある株式等は除かれます。

図 キャッシュ・フロー計算書の基本的な構造

キャッシュ・フロー計算書

Ⅰ 営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	×××	
人件費支出	△×××	
·····	×××	×××
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	×××	
有形固定資産の取得による支出	△×××	
·····	×××	×××
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入による収入	×××	
長期借入の返済による支出	△×××	
·····	×××	×××
Ⅳ 現金及び現金同等物の増加額		×××（=Ⅰ～Ⅲの合計）
Ⅴ 現金及び現金同等物の期首残高		×××
Ⅵ 現金及び現金同等物の期末残高		×××（=Ⅳ+Ⅴ）

③営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローの区分では、企業の本業である営業活動から生じた収入と支出が表示されます。営業収入（建設業では工事契約による収入）、原材料の仕入支出、人件費支出などが該当し、このほか法人税等に関するキャッシュ・フローも、営業活動によるキャッシュ・フローに記載されます。企業の営業活動が、どの程度の現金及び現金同等物を生み出しているか、すなわち本業における現金及び現金同等物の創出能力を示します。キャッシュ・フロー計算書の中で、最も重要な数値であるといえます。

④投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動とは、固定資産などの長期性資産や株式など現金同等物に含まれない投資資産の購入や売却に係る活動をいいます。有価証券の取得による支出、有価証券の売却による収入、有形固定資産の取得による支出、有形固定資産の売却による収入などが、投資活動によるキャッシュ・フローの区分に記載されます。

投資活動によるキャッシュ・フローにより、将来の利益やキャッシュ・フローを生み出すことを意図した資源に対して企業がどの程度投資しているのか、あるいは過去に行われた投資を中止したのかなどを知ることができます。

⑤財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動とは、企業外部からの資金調達に関連する活動で、株主資本や借入金の規模に変動をもたらす活動をいいます。短期借入による収入、長期借入の返済による支出、株式の発行による収入、社債の償還による支出などが、財務活動によるキャッシュ・フローの区分に記載されます。

財務活動によるキャッシュ・フローにより、どのような手段で資金を調達し、また、調達した資金の返済などのために企業が将来必要とする資金を予測することもできます。

⑥注意事項

営業活動によるキャッシュ・フローには、営業損益計算の対象となった取引によるキャッシュ・フロー（上記③）だけでなく、投資活動および財務活動以外の取引によるキャッシュ・フローが含まれます。たとえば、災害による保険金の収入、損害賠償に伴う支出などは、営業活動によるキャッシュ・フローに記載されます。

また、利息や配当金に関するキャッシュ・フローの表示は、次の2つの方法が認められています。

a	受取利息、受取配当金	営業活動によるキャッシュ・フロー
	支払配当金	財務活動によるキャッシュ・フロー
b	受取利息、受取配当金	投資活動によるキャッシュ・フロー
	支払利息、支払配当金	財務活動によるキャッシュ・フロー

3．キャッシュ・フロー計算書の解析

キャッシュ・フロー計算書は、2で解説したようにキャッシュ・フローが3つの活動区分から構成されています。それぞれのプラス、マイナスにより企業の置かれている状況をある程度判定することができますので、主なパターンについて以下に見ていきます。

ア 企業活動が順調に推移していると判断できるケース

営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー
＋	－	－

企業本来の営業活動により資金を生み出しており、本業で獲得した資金を更なる投資に充てると同時に、借入金等の返済も行っている状況です。資金繰りとして問題がなく、理想的な状態といえます。

イ 企業活動が順調に推移していないと判断できるケース

営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー
－	＋	＋

企業本来の営業活動により資金を生み出すことができず、保有資産の売却と金融機関からの借入金等により資金を調達している状況です。この状態が続いている場合には、早急に経営改善を図る必要があります。

ウ 企業活動が窮地に陥っていると判断できるケース

営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー
－	＋	－

企業本来の営業活動により資金を生み出すことができず、保有資産の売却による資金を借入金等の返済に充てている状況です。この状態が続くと、金融機関から融資を差し止められる可能性も高くなるため、本業回復が急務となります。

おわりに

企業経営における資金は、企業の血液に相当し、適正に流れていないと企業の破綻につながります。損益計算書の利益だけでなく、資金の実態にも目を向けることが必要です。

また、金融機関は、企業から取り寄せた損益計算書と貸借対照表をもとに、独自のノウハウでキャッシュ・フローを解析し、融資審査に活用しているとも言われています。

中小企業では作成の義務はないキャッシュ・フロー計算書ですが、ここからは企業経営にあたってのたいへん有意義な情報を得ることができます。ぜひ作成してみることをお勧めします。

第57回 かわいい土木

父のようにまちを守る「尼ロック」

「尼ロック」の愛称を持つ尼崎閘門。日本一の規模を誇る“船のエレベーター”にもかかわらず、その存在は地元でもあまり知られていないらしい。ところがこの閘門、ホームコメディ映画では「ふだんはぐうたらだが、いざというときには家族を守る父親像」のシンボルになった。いったいどういうことか。尼崎の歴史をたどると、その理由が見えてくる。

あまがさきこうもん
尼崎閘門
兵庫県尼崎市

Photo・Text▶フリーライター 三上 美絵

大成建設広報部勤務を経てフリーライターとなる。「日経コンストラクション」（日経BP社）や土木学会誌などの建設系雑誌を中心に記事を執筆。広報研修講師、社内報アワード審査員。著書『土木技術者になるには』（ぺりかん社）、本連載をまとめた『かわいい土木 見つけ旅』（技術評論社）

昨年（2024年）春に公開された映画「あまろっく」をご存知だろうか。主人公一家がスワンボートに乗って尼崎閘門、愛称「尼ロック」を通過する冒頭シーンが印象的だ。

江口のりこさん演じる主人公は子ども時代、この体験をレポートにまとめて学校で発表するが、クラスメイトは誰も尼ロックの存在を知らず、まったくウケない。

私が現地を訪れたときも、タクシーの運転手さんは場所が分からず、「最近、映画になったアレです」と説明してようやく了解してもらったものの、「なんでそんなとこ行きたいん？」とけげんな顔をされてしまった。

水位差を解消して船を通すだけじゃない、大切な役割

「閘門」については、過去にも岡山県の倉安川吉井水門（かわいい土木第12回 しんこうweb https://www.shinko-web.jp/series/1767/ ）と埼玉県の見沼通船堀（かわいい土木第39回 しんこうweb https://www.shinko-web.jp/series/8252/ ）を紹介したことがある。よく「船のエレベーター」と表現されるように、二つの川や運河の水位差を調節することで、船が通行できるようにする施設だ。壁で囲まれたプールのような「閘室」の片方の扉から船を入れ、扉を閉めて給排水装置によって水位を変えたら、もう片方の扉を開けて船を出す。これが一連の動作だ。

尼ロックは2基の閘門が並ぶ「双閘」で、長さ90m、幅17mの大きさは、日本では最大だという。南堀運河沿いの遊歩道を歩いて第2閘門へ着いたとき、ちょうど漁船が出ていこうとしていた（下の写真）。扇型の扉がゆっくり閉まる様子を見られたのはラッキーだ。

▲愛称「尼ロック」の碑があった。後方左に見えるのが閘門監視室。

船を通行させることに加えて、尼ロックにはもう一つ重要な役割がある。市街地を水害から守ることだ。大正時代以降、工業地帯として栄えた尼崎は、地下水の汲み上げによる地盤沈下が進み、台風や高潮の被害をひんぱん

▲第2閘門から船が大阪湾へ出て行く。

▲前扉は開き、写っていないが後扉は閉じた状態だ。

▲大阪湾側から第２閘門を見る。緑色の部分が「セクターゲート」と呼ばれる門扉。隣に第１閘門があるが、陸側からは見ることができない。第１閘門から第２閘門へは道路を大回りすることになるので、見に行くなら直接第２閘門を目指そう。

▲濃い青線の線が防潮ライン。尼ロックもその一部だ。

▲２基の閘門が並ぶ。閘門監視室では24時間、人が目視で船を確認し、閘門の開閉をしている。

に受けるようになった。その対策として1955年（昭和30年）に完成したのが、防潮堤と尼ロックだ。高潮のときには門扉をぴったり閉じて、海水の逆流を防ぐ。

　映画「あまろっく」では、笑福亭鶴瓶さん演じる父親がTVの前にだらしなく寝そべり、腰のあたりをボリボリと掻きながら「お父ちゃんはわが家の尼ロックや」とうそぶいていた。

　ふだん目立たなくても、いざというときにどっしりまちを守る姿は、たしかに似ているかもしれない。

アクセス

阪神本線「尼崎センタープール前駅」から「南堀運河沿い遊歩道入口」まで車で約7分。遊歩道を10分ほど歩くと第2閘門の脇まで行くことができる。

▲船が去り、前扉が閉じ始める。

▲完全に閉じるまで、5分ぐらいか。

お役立ち連載

建設キャリアアップシステム 第25回 を活用しよう!

サテライト説明会に参加しませんか?

―基本的な事から現場運用についてまで丁寧に説明します!―

「CCUSに登録したが、今後どう現場で活用すればいいのかな？」や「周りに言われ、登録しようと思うけど･･･CCUSはどう使うの？」と疑問に思うことはないでしょうか？CCUSでは、そんな疑問にお答えするための場「サテライト説明会」を実施しております。

サテライト説明会とは

サテライト説明会は、オンラインで開催（Zoom）しているCCUSの説明会です。説明会は、初級編と中級編で構成されており同日に行われています。どちらか片方の参加、両方の参加どちらでもできます。
また、参加費は無料となっており、お気軽にご参加いただけます。

初級と中級の違いは?

初級 » CCUSの基本的な事項から、最新の動向などをご説明します。これから登録される方にも、おすすめの説明会です。

中級 » CCUS活用支援が目的の説明会となっており、事業者登録がお済みの方向けの説明会です。CCUSシステムの現場運用の理解度を高めたい方におすすめの説明会です。

どちらの会も最後に、質疑応答のお時間を設けておりますので、わからないことは質問をしてください!

申し込み方法は?

「CCUSサテライト説明会」（https://www.ccus.jp/p/support-top）
よりお申込みください。定員がございますのでご注意ください。

こちらからお申込みページを確認できます »

サテライト説明会はCPD･CPDSの認定講習となっておりますので単位の取得が可能です。単位の取得をご希望の方は必要事項を入力し、お申し込みください。皆様のご参加をお待ちしております。

お知らせ

健康保険証の新規発行廃止に伴い、CCUSにご登録いただく際に必要な「健康保険の加入書類」が従来の物に加え、「健康保険資格確認書」、「資格情報のお知らせ」等が追加されました。詳しくは、建設キャリアアップシステムHP最新情報欄11月21日掲載の「健康保険証の廃止に伴う健康保険の加入書類につきまして」をご覧ください。

こちらからお知らせ内容を確認することができます »

（https://www.ccus.jp/attachments/show/673e77da-2b5c-4c15-a500-52d6c0a8081b）

二拠点教育実施による建設業の魅力体験

(一社)利根沼田テクノアカデミー

2校と連携した二拠点教育

11月16日(土)と17日(日)の2日間にかけて、利根沼田テクノアカデミーにおいて葛西工科高等学校の学生5名、豊田工業高等専門学校の学生4名に対して二拠点教育を実施致しました。国土交通省において「二地域居住促進法」が規定されたことを機に計画致しました。

実際の現場での様子や機材等、都会では経験することのできない本物の技術を見学・体験しました。この経験を基に建設業界の魅力を感じてもらい、若手担い手の確保に繋げていくことを目的として実施致しました。また、この取り組みを継続していくことで建設業への入職促進だけでなく、人の流れを生む都市集中の是正や当校で以前より取り組んでいる地方創生に繋がることも期待できる取り組みとなります。

今回のプログラムとしては、地元企業の株式会社斉藤林業様、角石林業株式会社様、木内製材工場様にご協力いただき、林業の現場や工程を目で見て体験し、宿泊を通して地方部ならではの良さも感じてもらう内容で構成しました。

今回初の試みではありましたが、学生が思う林業のイメージと実際の現場作業では全く違ったり、ディスカッションでは学生ならではの提案があったりと当校と学生両方で新たな発見が見つかり充実した内容となりました。

来年度には両校の学校へ出向き、今回活用した木材を使用して小屋を建てたり、取得したデータを活用して法面設計・施工方法などのデジタル技術を活用し研究・検証していきます。

子持山国有林

角石林業(株)様にご協力いただき、沼田市にある子持山国有林での樹木伐倒、切断作業を見学しました。学生のイメージするチェーンソーでの伐倒ではなく、林業の最新機械を使用し自動で長さ調整しカットする作業等を見学しました。

ディスカッション・レーザースキャナー測量

国土交通省国土政策局地方政策課深堀様と豊田高専の学生で二地域居住に関するディスカッションを行ない、豊田市と沼田市での二地域居住の可能性や課題等について話し合いました。その後当校敷地内の斜面を使ってレーザー測量も行ないました。

製材工場見学

木内製材工場様ご協力のもと、丸太割付図を用いての製材解説をして頂きました。丸太を製材しその部分がどの様に使用されるのかを見学し学びました。

閉講式

2日間でお世話になった皆様より挨拶の言葉を頂きました。二拠点教育を継続して実施していくことがとても重要であると言って頂きました。参加した学生も今回の体験・経験を今後の勉強に活かしていい街づくり、魅力ある建設業を創り上げてほしいと思います。

フロンティア
FRONTIER
建設の最前線へ！

PROFILE

木村（きむら） 雄海大（ゆうだい） さん

株式会社大平組
茨城県出身

「先の先を読んで臨む!」優れた技術と培ってきた現場力で工事を束ねる鉄筋工。

「楽しいのは、鉄筋を綺麗に組んでいるとき。やりがいを感じるのは、何と言っても竣工した建物を目にした瞬間です」。そう語るのは、鉄筋専門工事会社・株式会社大平組で工事部部長を務める木村雄海大さん。現場では職長として活躍し、その精密な技術と采配で様々なプロジェクトを支えてきた。

木村さんが大平組を選んだ理由は、実にシンプルだ。「家から近い。それが一番の理由でした（笑）。また、地元の先輩たちが勤めていたこともあり、大平組への入社を決めました」。そうして始まった鉄筋工としてのキャリアは、まさにゼロからのスタートだった。「はじめて現場で鉄筋コンクリート造の構造を目にして、“建物を支える部分はこんな形になっているのか!”と驚いたほど。当初は仕事の勝手も分からず苦労しました。ようやく現場が見えはじめ、自分なりに納得の行く仕事ができるようになったのは、入社して5年目辺りです」。

その後、マンションや病院、学校、大規模な清掃工場の現場などで腕を振るい、経験を重ねてきた木村さん。自らも手を動かしつつ職人たちを束ね、工事全体の進捗を管理する役目を担う。心がけているのは、“先の先を読む”ことだ。「現場全体を把握して施工の流れを想像し、どうすれば円滑に正確に作業が進むのか、常に先読みをして現場に臨むことを意識しています。また、細かい作業が得意な人間や体力に自信のある者など、職人それぞれに得手不得手があるので、個々の特性を見極めながら役割を割り当てるよう工夫しています」。

一職人としてのスキルも磨いてきた木村さん。多くの鉄筋工を見てきた大平代表取締役も“全国でトップを狙える技術がある”と太鼓判を押すその実力は、茨城県代表として選出された全国鉄筋技能大会の出場歴からも明らかだ。「大平組の先輩が全国鉄筋技能大会に出場しているのを目にして、“自分もやってみようかな”と思ったのがきっかけです。これまで2019年（第3回大会）、2022年（第4回大会）、2024年（第5回大会）と連続して県予選を勝ち抜き、全国大会に出場することができました。ただ、いずれの大会でもまだ優勝はできていないんです」と悔しそうな笑顔を見せる。「鉄筋を組み上げる速さや正確さには自信があるのですが、大会となると場の空気にのまれてしまうので、気持ちを強く持ちたいところです。大平組のみんなも応援に駆けつけてくれるので、次回こそ優勝を狙っています!」。

未経験からエキスパートへと成長した自身を振り返り、新たな担い手にも期待する。「建設業は、仕事に打ち込める方であればだれでも活躍できる業界。少しでもやってみたい気持ちがあるなら、挑戦してみてほしいです」。自身の目標は、鉄筋工としてのさらなる活躍だ。「目指すのは、もっと現場を円滑に進めていける“段取り上手”。また、今は建築の現場を任せていただくことが多いですが、今後は土木の現場にも入り、どちらの分野でも頼りにされるプロフェッショナルになっていきたいです」と、未来への意欲を示した。

Great Job!（グレートジョブ）

株式会社
大平組
代表取締役
大平 智彦 氏

この度は、建設人材育成優良企業表彰『優秀賞』を賜りましたこと、心より嬉しく思います。当社では多様な休暇取得方法や給与体系など“みんなが幸せになる3K（休暇・給与・環境）”に向けた働き方改革をはじめ、自社トレーニングセンターでの若手育成環境整備など、担い手確保・育成に向けた様々な取り組みを積極的に実施しています。今後とも多くの方に建設業の醍醐味を知っていただき、入職を働きかけていきたいです。

建設人材育成優良企業表彰『優秀賞』を受賞

建設業しんこう
Feb.2025 No.565
令和7年2月10日発行
第49巻 第9号 通巻第565号
■編集・発行
一般財団法人 建設業振興基金
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12虎ノ門4丁目 MTビル2号館